

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-146）、MOX燃料加工施設（1-150）」

2. 日時：令和4年7月22日（金） 10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、中川上席安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、高梨安全審査専門職、瀬戸川安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 須田執行役員 経営企画本部長 他24名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

炉心・燃料サイクルグループ マネージャー

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料サイクルグループ

マネージャー 他1名

5. 要旨

- (1) 日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請に係る補正時期について、ヒアリングでの確認事項の反映作業等、引き続き申請書記載事項の精査が必要な状況のため、当初予定していた令和4年7月末から8月上旬に遅れる旨説明があった。
- (2) 日本原燃から、令和4年7月7日、13日及び19日の提出資料に基づき説明があり、原子力規制庁から、主に以下の点を説明するよう求めた。
 - ・申請対象設備の選定に関して、再処理施設に求められる機能一覧について、基本設計方針との関連も踏まえた抽出の考え方が明確になるよう整理すること。
 - ・溢水における耐震評価について、評価の観点を踏まえた耐震性に関する説明書上の位置づけを整理すること。
- (3) 日本原燃から、本日のヒアリングを踏まえて対応する旨の発言があった。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和4年7月7日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年7月13日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年7月19日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	どっかになりましたので、
0:00:05	ヒアリングをしたいと思います。
0:00:08	多分向こうへ行きます。
0:00:13	規制庁ですと、それは、日本原燃とのヒアリングをします。
0:00:19	本日のヒアリングは2年12月24日に申請があった学校に設定についてヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:29	浜崎次長紹介いたします。
0:00:33	社長会議からナカガワ明オオハシタカナシセガワな意味で、
0:00:42	プロも感じるから手を見て、
0:00:47	5番は、
0:00:49	以上になります。
0:00:51	6年要件、出席者の紹介をした上で進めまして、次どうぞ説明してください。
0:01:00	はい。二本木委員、仲間でございます。
0:01:04	日本原燃側の参加者を紹介いたします。
0:01:09	スダタカマツ。
0:01:11	タニグチ。
0:01:12	イシハラ。
0:01:14	キクチ。
0:01:15	アボ。
0:01:16	フクムラ。
0:01:18	カワグチ、里。
0:01:21	佐藤高橋セガワ藤野。
0:01:25	田仲。
0:01:27	佐藤。
0:01:29	ハヤシタテウチ。
0:01:32	ヤマモト。
0:01:34	不安。
0:01:35	フルカワヒメノ。
0:01:38	メトキ。
0:01:39	タナカスワ。
0:01:42	エビナ。
0:01:44	ヤマモト。
0:01:45	ナカハマ以上となります。
0:01:49	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、

0:01:53	共通 09、再処理施設側を確認いただきます。
0:01:58	共通 09 本分及び別事関係。
0:02:02	となります。
0:02:04	そのあと 100000-02。
0:02:07	以上、大きく二つの補足説明資料についてご確認いただく予定となっております。
0:02:16	それでは冒頭MOXの
0:02:20	補正についてご説明し差し上げた後、資料の確認いただきたいと思えます。
0:02:27	はい。西原。
0:02:31	ボックスの方の補正のスケジュールでございますが、2. 7月20
0:02:40	能力の中で、
0:02:44	西井です。
0:02:46	火山ですとか、耐震が、
0:02:50	新しい。
0:02:51	の中でのいろいろなご指摘事項を踏まえ、
0:02:54	やはりまだ
0:02:57	堀野本部店長李内田。
0:03:01	これの方で修正作業であったり、
0:03:05	が必要であると。
0:03:07	考えまして、セールの方、現状、8月の5日に補正の時期を変更させていただこうということで考えております。以上です。
0:03:20	はい。ありがとうございます。結局、
0:03:25	きちっと国、
0:03:28	ただいまの定義について確認いただければ、
0:03:34	ヒアリング資料に行きたいと思えます。
0:03:38	江藤の資料について、原燃から説明をお願いします。
0:03:44	はい。日本原燃の棚田です。それでは共通 09 の方のご説明の方に移らせていただきたいと思います。まず初めに共通レビューの本文の方です。
0:03:54	ビジョン 21 ということで、昨日も草場の方で、共通的なところをご説明しましたので、
0:04:02	最初に特養で変更を加えたところを、ご説明させていただきたいと思います。左下の全員で言いますと、20 ページまで飛ぶんですけども、
0:04:15	こちらの方に、6月9日の前回のヒアリングの際に、画面共有させていただきました、再処理施設における市民のですね、全体的な構成を、

0:04:26	示しているというのが、第1図というのを追加していると。
0:04:31	別紙1-2の構成ですねその概略ということで、表の1というのを追加、
0:04:38	さらに次のページですね、21ページの方にこちらの方で、再処理施設における系統の一覧というものを追加しております。こちらの方は、再処理施設の方の7度に共通することなので、上流の本部の方に、
0:04:54	格上げで記載していると、というような追加を行っております。
0:05:01	0経営本部としては、最初に言われたところとしては以上になりますので、続きまして、凝灰設備の方で変更書いた線をご説明したいと思いません。
0:05:19	こちらの方の資料につきましては、令和4年7月7日に提出させましたビジョン2という業界設備の、別紙1-2-2の、
0:05:29	1というものになっております。こちらの方の変更点につきましては、1枚開いていただきますと、右下にページ3ページ。
0:05:41	4ページ、こちらの方はですね前回ご指摘いただきました、目次の方で全体的な構成をわかるようにということなので、項目ごとにですねそれぞれの
0:05:52	系統の考え方から始まってですね、どういう条文の機能が凝灰質に関わっているかというものを、全体的にこの目次で一覧できるような形で、独自の確立、
0:06:04	いうものをさせていただいております。
0:06:07	次の辺、主な変更点としましては、
0:06:12	右下ページ、6番ですね、こちらの方が、2ポツの(1)、
0:06:18	ということで、もともと継続事業の名称のみ示しておったのですが、別紙2との紐付けということで、項目番号と、継続機能紐つくような形で、記載の方を拡充させていただいております、
0:06:34	FCを、
0:06:36	主な変更点としましてはですね、2ポツ3の方に移りたいんですけども、飛田右下で40、
0:06:46	7ページ。
0:06:48	からのところになっておまして、こちらの方ですね、資料の設定ということで前回までは資料の名称というような項目だったんですけども、こちらの方は狩猟の範囲の設定というふうに、
0:06:59	項目の名称を変更させていただきまして、
0:07:05	ここでさらに報告を上げる場所としました系統図のほうをご覧くださいんですけども、49ページですね。

0:07:19	こちらの方で、もともとの系統図に赤の主流を示しているだけだったのですが、こちらの方にですね
0:07:27	もともとの系統図といいますのは各FDを束ねたような形で、全体的な概略を示しているということなので、系統図、
0:07:38	利益ですね、との関係性を示すということで、どのCFDがどの範囲を示しているかというのを、お示ししたというのがこの青枠で示しているところになっておまして、
0:07:49	それぞれの計画機能に応じてです。
0:07:52	フロムツ-それぞれ
0:07:54	年間をちょっと、
0:07:56	テキストボックスの方に、
0:07:58	追加しているんですけども、どういうフロムツ-になっているかというのと、それをL/Dをかけるにはどういうふうなシート番号をたどって参ります。さらに、優待規模どういう記号を、
0:08:10	をかけていけばいいというようなものを記載しているのが、この2ポツ3のところ、検討すると、FDのその関連性というものをですね、わかりやすくしたというように、
0:08:23	が変更でございます。
0:08:26	さらにですねちょっとFDをとりあえずというところに関しましては、
0:08:31	ちょっとページ番号園部恐縮なのですが、157ページなんですけども、
0:08:42	こちらの方にですね、それぞれCFDをかける際のですね、シートの取り合い側のところをですね、どういう形で関係性が、
0:08:52	福祉等でどのような取り合いをしているかというのを解説というものを、CFDの前にですね、差し込むような形で、その本文、先ほどの系統図で逃げる時との関係性さらにFEP等というところの、
0:09:06	読み方というものがあれば、
0:09:10	フロー図のところを追いかけるような形でですね、修正を加えております。
0:09:16	すいません、フェーズも戻っていただきまして、
0:09:21	続きまして、3ポツのところの耐震関係の変更点でございます。100ページ、右下で言うと100ページ、
0:09:44	つまり116。
0:09:52	で、こちらの方がですね、
0:09:55	前回のヒアリングでもご指摘あったような、2ポツの(2)と(3)で、それぞれの終了の考え方というものを、クロムということに整理しているということで、それぞれを構成する機器とかですね、主配管。

0:10:08	がどのように構成されておりました、それぞれの機器であったり、配管に割り当てられてる際、耐震クラスというものを整理しまして、プロットのその耐震
0:10:20	川井ポイントとかですね、そういうところがわかるように整理しているというのが、表5-1になっております。
0:10:29	そこから提示進めていただいて、
0:10:47	右下の実績が128のところですね、
0:10:53	実際具体的に先ほどの耐震クラスを整理したフロントの表ですね、耐震クラスの接続ポイントが異なるところというところを具体的に示しております、
0:11:03	127ページのところは前回もお示ししていたのですが、黒の表ですね、128ページのところもですね、クラスの異なる接続があるということで、
0:11:16	感染力その周りのところのプラス、
0:11:19	異なるもの同士の接続行為というものを追加しております。
0:11:24	こちらも、
0:11:26	が耐震の主な変更点になっておりました、さらにちょっとページ飛ぶんですけども、
0:11:33	131ページのほうになります。こちらの方が添付の方になるんですけども、
0:11:40	前回、
0:11:42	6月2日の時点で提出した共通0件の別紙2の、
0:11:47	別紙1の再処理側の構成としましてはこの表紙1枚だけで他のところに全部免震を見てくれというような、飛ばし方にしていたんですけども、これだと七条のパッケージの中で全部クローズしない。
0:12:01	ということになりますんで、それ以降にですね、各所止めている豊岡移設に関係する条文の別紙1から、機能要求②を抜き出しまして、それぞれの機能、
0:12:13	グルーピングしてですね変換ということですかね。して、どういう系統機能が割り当てられているかとさらに、その規模付け番号というものを明確にして、この
0:12:27	別紙1の中で、
0:12:32	別紙の機能におけば、共通の繋がりというものを明確にしたというところが、主な。
0:12:39	変更ベースになってございます。
0:12:43	続きまして、了解設備を例にちゃんと

0:12:49	別紙1の変更点のご説明をしましたので、安全冷却水系のところと言うと、溶解設備に比べて、差分で変更してるところってのはたくさんございますのでそちらの方のご説明ということで、
0:13:02	安全冷却水系の方、
0:13:05	すごいです。
0:13:08	こちらの方で、変更、主な変更点につきましては業界設備の方でご説明した通りになっておりまして、安定的な水系の方で取り出しして、変えてるところとしましては、右下の、
0:13:20	36ページ35ページになるんですけども、
0:13:26	こちらの方はですね、別紙2の、すみません、別紙1-2の後ろに添付されてます、申請対象設備リストが、1回申請時にどのように展開されるかということで、36ページで言えば、
0:13:41	機器ですねデータ等がどのように展開されていくかで、2回ほど
0:13:47	冷却飛ばした
0:13:49	英語の方が追加されていますので、どのように変わっていくかというのを示しているのと、35ページの方は配管側で、営業基盤は、すみません。肥後。
0:13:59	周りの配管を、
0:14:02	資料、宴会以降、号機周りの配管が変わりますので変更していく、その様を追加していくというような、
0:14:12	変更を追加で、安全冷却水系の方としては加えていくというような変更でございます。
0:14:18	四つ変更点についてのご説明は以上でございます。
0:14:25	堤室長がございましたらお願いします。
0:14:35	検討の中で、
0:14:37	実は、
0:14:38	資料は幾つか書いてるので、
0:14:41	ちょっと順番で確認したいところが、
0:14:44	何か、
0:14:46	共通の要求を今回、
0:14:49	申請対象設備の選定について、これについてまずちょっとなくて確認したいと。
0:14:57	それで、
0:14:59	ちょっと先ほど説明があったり、前にですね、いろいろ指導があったと。
0:15:05	可変統計が、

0:15:08	それで、ここも、
0:15:11	共通 09 の資料入庫。
0:15:14	まず 137 ページに新しく集排管をしない対象というふうに加えてるんですが、これはどういう C F A M アドバイザーということが、
0:15:28	はい、日本原燃、田中です。こちらの方につきましては、前回のご説明がもう、
0:15:33	共通 09 の石井の
0:15:36	ロックだったらちょっとすみません別紙番号、すいません、そちらの方に、後段の方でまとめて示していたと、というようなものになってるんですけども、こちらの方は共通的なものということで全体に関わるということで、
0:15:49	上流の方に整理した方がいいのではないかとということで、本文の方に記載しております。
0:15:57	はい、施設中です。
0:15:59	それで、前回は何か理由が書いてたような気がするんですけど、今回それを消したというのはどういうふうな、
0:16:11	タナカすみません、
0:16:13	もう一度ご質問していただいてよろしかったでしょうか。
0:16:17	すいません。
0:16:19	はい。局長ナカガワですか。前回お話聞いてですね。
0:16:24	それで、何か三つ目議案が分かれていて、
0:16:29	対象にしない理由を書いていたかと思うんですけど、それは、
0:16:34	消した意図というのは何か教えていただきたいんですか。
0:16:44	少々お待ちください。
0:17:06	胸タナカです。今、中尾さんおっしゃられたのはですね、
0:17:11	おそらく、
0:17:13	今回お出ししております溶解設備で言うところの、
0:17:18	100 ページの方に、
0:17:20	書いております。
0:17:23	第 4、1 の表 4-1 の表 5 の、
0:17:27	加茂。
0:17:28	具体的に言うところを、
0:17:30	去っておられるのでしょうか。
0:17:34	円筒はメーカーの仕様を比較してということに、

0:17:40	前回の後、日本原燃田仲で前回の資料につきましては、再処理施設の中の方、個別具体的な設備の中に入れておりました章になりますので、ちょっと
0:17:53	全体的な共通的事項としてすぐわないような、
0:17:57	ちょっと具体的すぎるところもありましたので共通するというところで若干具体的に言うというところ、省いた形で、09の本体というところに、
0:18:09	示しております。
0:18:13	規制庁、岡山さん、鳥飼としてはだから、個別の詳細の理由については、それぞれの方を、設備、系統面で説明をするところは、
0:18:24	とりあえず概略として書いて、そういう理解でよろしかったでしょう。
0:18:29	井上玉田そういう通りでございます。
0:18:39	その場合には、それが結局、この部署から持ってきているかっていうと、
0:18:44	技師さんの6ページ、2、
0:18:48	文章的にはですね、中段ぐらいから案。
0:18:52	機能性を達成するために、法的に設けられた設備であり、これに該当するということでしょうかね。
0:19:00	うん。
0:19:03	はい。そのような趣旨で、
0:19:08	はい。細かいことを言うと7ページの一番下にも、
0:19:12	将来増設条例なんかこれに当てはまるかっていう気がするんですけど、それは包絡的に
0:19:19	表現としての文章になってるということでもよろしかったでしょうか。はい。日本原燃田仲確かに、6ページの文書の完璧なリンクではないのかもしれないですけども、共通的な事項ということで記載させていただいております。
0:19:35	はい。該当するところはあったんですけど、それが何か包絡的な文章になってない気もするのでそこは、
0:19:41	引き続き制度をお願いできればと思います。うん。
0:19:46	考えております。はい、承知いたします。
0:19:50	主
0:19:53	発生層の中で、それからですね、あとは、
0:19:57	9ページの下にですね、cポツの抽出結果の設備率への反映ということで、
0:20:07	括弧資料文章が、
0:20:11	追記されていますけれども、ここは先ほど説明ありました。

0:20:16	日本原燃からこちらの方はちょっと説明の方は割愛させていただいたんですけども、昨日共通 06 の方でも示した内容を取り込んで、少し具体的な例を追加しているというようなものになっております。
0:20:33	規制庁中です。内容確認したところですね、多分リストの反映にあたって、どのように登録するか。
0:20:44	そそのタイミングを考えるか。
0:20:46	いうことでこれは西郷でも、幾つか数え方について物性の説明があつてそこを整理しましょうということでそれを踏まえた記載ということでよろしかったでしょうか。
0:20:59	はい。河津サトウでございます。
0:21:02	はい。
0:21:04	規制庁中それで内容を確認したんですけど、
0:21:11	2行目ぐらいからですね
0:21:14	使用料、手数料シミズものどうそれから、
0:21:18	事業変更許可申請書で数量を明確にしているものを設置する機器等の数量を、
0:21:25	明確にする必要もあるのは、その数を、
0:21:30	記載し、
0:21:31	いうことで書いてるんですが、ここ、これは基本設計方針に変えているものについてということでもよろしく。
0:21:43	日本原燃、金田麻生です。
0:21:47	はい。何かここは前回配布資料とするし、表現が変わっていて、
0:21:53	継続週、使用料はそのままというプラスその基本的方針に書いてあるものについても、
0:22:01	こういう観点でカウントするというふうに書いていただと思いますちょっと何か。
0:22:08	表現が、
0:22:11	正確に書いてないと思うんですけど。
0:22:14	はい。はい。日本原燃棚田のご指摘の通りで、会合と資料、
0:22:19	成功を図ってですね、タイミング、次回、こちらの方も反映させていただきたいと思い
0:22:27	はい。社長のちょっとしたんですけど、ちょっと正確に記載していただくようお願いします。それから資料の 20 ページ目ですね。
0:22:37	今回、
0:22:41	別紙 1-2 のですね
0:22:44	構成の話というところで、3割をつけていただいたと。

0:22:49	いうところで、これタイトルがですね
0:22:52	別紙2の日における主流の範囲の考え方っていうふうになってるんですけど、これは、
0:22:59	米州ルールのある考えだけではないと思うんですけど、そこには、
0:23:04	はい、亀田です。おっしゃる通り別紙1-2は白のところをご説明したいというのが大きい目的ではあるんですけども、全体的な構成としてはタイトルとしては、確かにこれに限った話ではないかなというふうに思いますので、見直し、
0:23:19	が必要かなと思います。
0:23:22	多分、
0:23:24	想像するには、
0:23:26	別紙1-2の全体構成についても、そういうことを表したいということでもよろしいですね。はい。その通りです。
0:23:36	はい。
0:23:37	それで、上でですね、この象地裁なんですけど、何となくフローの順番が、
0:23:44	よくわからないってですね何か下に下ってまとめて上がってなかったっていう、これはもう政治的な、
0:23:52	えっと一緒なんですけれど、それで結局、ここでな、何をはじめとして、どういうプロセスで最終的に、とは何かっていうことなんですなんかこう、
0:24:03	わかりにくいところがあるんですけども、
0:24:07	としては、
0:24:09	添付2の申請対象設備リストをまとめるっていうことですよ。あ、あ、あそうか。
0:24:19	うん。
0:24:20	だから、そういう、そういうのがですね、何かこうフローになってるようになってないところがあって、
0:24:27	視察表で、それぞれに何が書いてあるかっていうのはあるんです。
0:24:40	なんか、上のフローっていう施策フローが重なってるように見えて、何か一部記載の違いって何か、
0:24:47	一緒に書いてしまうんじゃない、記録したんですけど。
0:24:50	ここはどうですか。何かこう、何か非常に見にくいですね。むしろちゃんとかうフローとしてちゃんとわかり少し大きくしてですね載せていただいた方がいいんじゃないかと思いますがいかがでしょうか。

0:25:02	はい、梅田です。確かに、図の1と第1章、記載が熟してる内容があるなというふうに思っておりましたので、こちらの方はもう、
0:25:15	ちょっと見直しをかけたい。
0:25:18	はい。何か細かいところを言うと下の表で、一つ目の、
0:25:22	次、抽出結果というのがあってですね、抽出結果ってのはないんですけど、触媒成功は変わらないでしょう。
0:25:33	はい、梅野田仲です。この抽出結果というのがですね。
0:25:40	そうですね。意図してるところとしましては、最終的な申請対象設備リストというのがもう全体のアウトプットということになってます。ちょっとその整合がとれてないなというところがありますので、先ほどの
0:25:52	修正も併せてですね全体的に見直し、
0:25:55	行いたいと思います。
0:25:59	はい。室長。それで後は、11ページ目にですね、今回第2項ということで、
0:26:07	再処理施設に求められる系統機能の一覧というのが、張り付いてきたんですけどこれはどっかでしたものなんですかね。
0:26:17	はい。日本原燃棚田です。こちら先ほどの溶解設備の方の添付のほうに示しておりましたように、各条文の00の別紙2の方ですね、機能要求02、
0:26:30	を束ねて、グルーピングしたものが、系統機能というふうに示されております。
0:26:38	はい。施設の中で、ちょっと両方の使い方とかそういうのがよくわからないところが結構あったりして何か、
0:26:46	22ページ、別紙ということでこれまでの何か、別紙シリーズの一覧みたいのがついていてですね。
0:26:56	ここのようなところは言えないんですけどそれは何であつたらいい。
0:27:07	はい。
0:27:11	笹大池です。例えば、29ページぐらい。
0:27:17	苦しいデータっていうのがフルスピード筧ところあるんですけど、
0:27:22	それが21ページ目で議会、先日、
0:27:28	同じような表現はあるとありますけど、
0:27:34	日本原燃田仲です。
0:27:36	今おっしゃられた苦しい関係で見ますと、21ページの第2表のところの、19ページ、すいません、19条の方の系統機能の方、該当するものになっており、
0:27:50	はい、何かふうプール等の公開、通常のここら辺の話でしょ。

0:27:57	許認可サトウですと今の点タナカのお話をちょっと補足させていただきますところ、29 ページのところに書いてある別紙の構成は、水許可に書いてある
0:28:09	設備の設備区分ごとに、その系統機能の名刺というのを作成している。目次が並んでいますので、設備名が一応書かれているという形になってございます。
0:28:19	で、先ほど系統機能一覧表 2 の方で説明して、
0:28:24	おります製造機能一覧の方は、別紙 2 の、先ほど江口の要求 2 ですね、添付 4 階設備の添付 1 の方で、まとめて変換のサポートをしているんですけども、それを、最初に非常に機能ございますので、
0:28:40	ある程度のその機能のグルーピングという部分と条文との関係というのをですね、一覧化したものという形になりますので、この目次の部分が、系統機能全体で、
0:28:52	それぞれの系統設備に対してどういう機能があるかというところをこの一覧の中の機能のうち、どれが該当するかというところをですね、
0:29:03	個別の別紙の中で展開しているということでございます。以上です。
0:29:08	イメージがございます。今のやりとりは、
0:29:13	吉尾副に大前提は、
0:29:16	俺が言ったことをちゃんと、
0:29:18	ご理解いただき、
0:29:21	先ほどの、そのあとの議論もね、
0:29:24	本文とそご
0:29:25	は超えてないので、説明をしたいのか。
0:29:28	説明がかなり抜けてるんだと。
0:29:31	そこ、保管して、文章とリンクを取って、ここで説明したいことと、後ろのページとの関係も含めて、
0:29:39	うん。
0:29:44	規制庁コサクです。そういうことだと思う。
0:29:47	いるんですけど、この表作った意味とか、
0:29:52	或いはこの表をどうやって作ったかとかっていう、フォローなんですけど。
0:29:59	今石原さん言われたように、資料として整理をしていただくとしてですね、ちょっと内容を確認し、
0:30:05	たいんですけども、まず、どうやって作ったかっていうと先ほどちらっと言われましたけど、0 加来城も 00 資料で、

0:30:17	レイジーD、基本設計方針を整理し、別紙2以降で、その基本設計方針を単位ごとを分けて、
0:30:28	番号づけをしていると。
0:30:31	で、今日後のヒアリングの資料ですね、別紙1-2の2-2-1。
0:30:39	例えば、
0:30:42	ページ2、
0:30:44	予期される機能性能と主流の考え方ということでまず要求される正門は機能性の、
0:30:52	いので表になっていて、この系統については、南條の今、話をした別紙2でも基本設計方針の番号、
0:31:04	いうところの関係で、こういうものが該当してます。
0:31:09	いうことをまず、け。
0:31:12	カーにもなると思うんですけど、
0:31:16	本格を示していただいて、
0:31:18	いうところですけど。
0:31:20	この番号と、真ん中に系統機能メール入って、
0:31:26	今期系統機能名の、
0:31:30	を一对一で指していると思っていいですか。
0:31:35	はい、無限金田です。
0:31:37	本文の21ページの表は、こちらも一对一になる。
0:31:42	日本原燃の瀬川でございますちょっと補足をさせていただきます。
0:31:46	133ページをちょっとご覧になっていただきたいんですけども、6ページを見ながら133ページを見ていただくと、
0:31:54	紙だったらそういう形でできるんですが、見ていただきますと、
0:31:58	この業界設備に関わる閉じ込めの条文で機能要求のある落第てるやつとして、項目番号一番というのが、133ページの一番冒頭に出て参ります。
0:32:08	この基本設計方針を受けたその機能名称としては、放射性物質の保持機能という名称にしましょうというふうに、整理しております。
0:32:18	それが先ほどの6ページの系統機能へのローマ数字の
0:32:24	放射性物質の吸収できますし、133ページの一番右端にですね、十条-1と、
0:32:31	いうものですね、これが別紙2と後付け版をというような形で6ページに整理されてございます。
0:32:38	で、先ほど共通09本部の方の表にですね、

0:32:44	ここに出てきている系統機能の、これ全体像になるんですけども、これは各別紙2をですね、総じて見ていった時にですね、
0:32:55	各基本計画設計方針を述べられてるわけですけども、その基本設計方針の内容を、題名する名称として、閉じ込めであればこの
0:33:06	七つ八つぐらいの系統機能名称で、基本設計方針を表そうような形で整理したのがこの第2表の結果となっております。以上です。
0:33:23	規制庁コサクです。
0:33:28	別紙、各条別紙2、NO、番号振ってあるというふうにこれまで、
0:33:36	見ていたんだねと番号だと、内容がよくわからないので名称をつけた。
0:33:41	ということとは理解をしつつ、それを集約して云々でとかって言われると、じゃあどこがどう対応してんだっていう、わからないっていうところがいい。
0:33:52	もあるんですけど。
0:33:55	主、
0:33:58	別紙121の方ですね。
0:34:05	ここで書いてるものでいうと大体一対一状態になりつつ、十条68と67としてる。
0:34:12	ものがあるって、6が両方とも絡んで、
0:34:16	ですけど、
0:34:17	これは
0:34:19	大枠としての全体の更新が、そのあと数日のう。
0:34:24	運が続いていくというときに大枠は漏らさない。
0:34:29	オオハシつつ、ここのやつが、
0:34:32	手分けで入っているという状態だと思いますけど、ここはそういう理解でいいですか。
0:34:43	日本よりの見方等です。今6番7番のご質問ですけども、基本、ここはですね基本設計方針の中身ちょっとすいません。
0:34:54	ちょっと細かいんですけども、実施としては
0:34:57	収納するセル等の床を部分の、に対応する漏えい器回収のお話と、いわゆる室といういわゆるどっちか、どちらかというとその変更時、
0:35:07	農業という形の部分の方針としては同じような形で書いているんですけども、扱っているものの対象がですね、基本方針違うので、ここはその機能としてしっかりと施設整備という形でちょっと使い分けてですね。
0:35:22	整理をしているということにしてございます。以上です。
0:35:28	ごめんなさい。僕はそれを交換して書いてある文章だということでもいいですか。

0:35:45	すいません。678の差分5ってということですよ。
0:35:52	そうそうお待ちください。
0:36:08	すみません繋ぎでちょっと佐瀬セガワですけども、お話をしますけど、7番は、崩壊熱が大して小さくなくて、漏えいしたときには、さらに長田で抱えとけば、もうそれで事態収束だよと。
0:36:23	というようなものを、増益、漏えい拡大防止については7番てます。8番というのは、動いた後それほっとくと、沸騰になったりとかして事態が拡大していくよと、というようなものに対してはしっかり回収していきましようねと。
0:36:39	そういったようなそういったものを扱ってるところの、小山内については8番で述べてます。で、6番という、
0:36:57	私もすみません今ちょっと、さっと見ると、7と8を包絡しているものにちょっと見えてしまうので、
0:37:06	本当にその崩落関係として6と7と8というのを分けて6というのを設けたのかというのをちょっと再生させてください。以上です。
0:37:19	やはり、せっかく今133ページ、334ページ開いていただいたので、
0:37:29	言うと、機能名称っていうふうに、ここで書かれていて、
0:37:35	先ほど言った言葉と合ってます。
0:37:42	上の方でいっぱい、
0:37:52	前田新倉のページをめくり対比できない、聞いているだけなんです。はい。日本原燃の瀬川でございますですね。
0:38:01	第2号、第2条ですね、第2項の漏えい拡大防止のところでいくと、系統機能名称に書いてあるのですね。項目番号7番、8番。
0:38:13	が書かれているものでして、
0:38:15	6番というのは、これちょっと向上してきておりません。
0:38:24	登録しておりませんので、
0:38:27	ちょっと今ちょっとちょっと再整理をさせていただければと。
0:38:32	院長です。ちょっと状況は私自身思いを入れてないんですけど、
0:38:41	内容をしっかりと整理して、
0:38:44	集約という意味でいうと6番、実質は幾つか内容が含まれて、ここで言えば、133ページで言うと、セル登録という話と、出動のという、
0:38:59	二つがまじってます。それに、
0:39:03	それぞれについては7番と8番の、言っていることも包含させて、
0:39:12	一つの機能として表現をしています。
0:39:16	ということと理解をしましたと言いつつ、その下の、
0:39:22	9番も政党の漏えい防止強いコメント。

0:39:27	いうことであって、この言葉は僕が7番、6番、8番というだけなわけでもない。
0:39:39	いう等ですけど、
0:39:42	この機能を達成するため、
0:39:46	2、
0:39:47	必要な時期というのは、
0:39:50	第1で特定されるわけじゃなくて、その内数として、ナンバーに対応する機器ナンバーに対応する機器とまだ細分化されるということですね。
0:40:00	日本原燃須田です。
0:40:02	9番。
0:40:11	いわゆる
0:40:13	外部
0:40:20	管理します。
0:40:22	これ先ほど
0:40:30	で、
0:40:37	これ130。
0:40:43	30
0:40:46	もう、
0:41:09	えっとそれと追加。
0:41:11	678というのが、
0:41:14	は、
0:41:18	3ページ。
0:41:21	増益てた。
0:41:23	力を持ち、
0:41:24	それから、
0:41:26	7、8
0:41:31	と違い、
0:41:41	谷内の方、
0:41:45	安全を医師会します。
0:41:50	ので、それで
0:41:53	とする場合、
0:41:54	パターンについては、漢字の場合については10、
0:41:57	佐瀬十条、
0:42:01	だから、
0:42:02	そうしないと、

0:42:04	では、
0:42:08	16と17。
0:42:11	使うというところちょっとそこをしっかり整理。
0:42:14	小さい。
0:42:20	音声、
0:42:26	はい。進捗です。
0:42:29	十分理解しきれなかった部分ある気がするんですけど、
0:42:33	整理をしていただければわかるかなというふうに期待をしています。ちなみに、この134ページの7番は、
0:42:43	上のほうでリンクがあると言われてましたけど、ここにその溶解設備と書かれてないんでしょうか。
0:42:57	そうですね。
0:43:26	動きですからです。
0:43:29	確かに並ぶ
0:43:32	ようして、
0:43:34	5回、
0:43:40	の方です。
0:43:49	尾崎さんおっしゃってるように、
0:43:57	を、
0:44:08	使い分けも、
0:44:15	はい。ちょっと整理をよろしくお願いします。それで話を戻しますと、ます。別紙2で整理をしてい。
0:44:25	た南條南波という、今みたいに関連するものとして、山根児童2人、或いは
0:44:35	少し集約をするということで、
0:44:39	去るもの、
0:44:41	うん、同時に湧かない場合もある。
0:44:45	番号を束ねているということで、
0:44:49	その辺りがわかるようにしてもらわないといけないのかなあと思うんです。具体的には、
0:45:00	この別紙1の2-2-2の一井の6ページとかにまとめる表の形を、
0:45:08	共通の、
0:45:11	21ページですか、第2希望のところで、この機能で、
0:45:16	別紙2の頑張ってるってっていうのは書けますよね。
0:45:24	はい。表明のセガワでございましたか、書けます。はい。
0:45:29	対応したいと。

0:45:32	はい。最低限それ、そういうような、そういう場というところで、Gを見ればそれ、今、見さしていただいている。
0:45:46	いただいたようにそれぞれの機能に対してどういうものがぶら下がっていると、整理なんかもわかりますし、導入としてはいいかなというふうに、
0:45:57	C、中口です。
0:46:01	はい。貴重な、うん。
0:46:03	ちょっと繰り返しにはなるんですけど、
0:46:07	この共通の指標自体が全体的なその抽出プロセスとかですね、そういうものをこうまとめてある程度、
0:46:17	プロセスがわかるような資料ということで、今回、いろいろ、21ページの表を含めて、追加していただいたところあるんですけど、
0:46:27	その表現がどういうのかというところがですね、十分に書かれてない。
0:46:33	ところがあって、
0:46:35	この21ページ目の兵庫20ページであってですね、その検討機能がついてないで示すぐらいは言ったって、
0:46:43	これがこういうもので、
0:46:47	元としてですね、こういうようなまとめたのかと。
0:46:51	言えばそういう流れがちょっとわかるように、
0:46:54	プラス、全体像が把握できるようにというところで、まあ、あの表に関連する文章表含めてですね。
0:47:02	検討いただければと思います。以上です。
0:47:08	表面化はしたそのように検討させていただきたいと思う。
0:47:12	はい。共通経費は大丈夫ですか他にありますかでしょうか。
0:47:20	はい。なければいかんという、
0:47:24	あとは具体的にちょっと別紙1の2-2-1ということで溶解性手続きについて、
0:47:31	これは従前から何回かヒアリングしている中で今幾つか検討して、
0:47:38	それについてですね、修正していただいたものが提示いただいたと。
0:47:44	いうところで、大体この内容自体は抜きますので、
0:47:51	それは何となくわかっていてですね、前回の結局その資料構成自体が、
0:47:58	どういう関係にあってそういうことからちょっと構成が明確なので、
0:48:05	まずまず内をつけていただいたということで大体の中にはなかった。
0:48:11	IVですが、あと、ちょっとこのところでですね、年、
0:48:17	この確認作業を進めるというところで、ちょっと不明確なようなところが、

0:48:25	あったのでそこについて確認ではあるんですけど、
0:48:31	それで、
0:48:32	従前からいくつかコメントしてる中では反映されていないような取得をして、
0:48:38	今回先ほど紹介ありましたけど、
0:48:41	Fとかそそういうところのその部分についてそれが上関係にあるのかということがよくわからないってのは従前から分析していたかと思えます。
0:48:54	それから150ページで、そこら辺がばっかりをしましていうふうになってるんですけど、
0:49:03	これは何ですか、ポイントとしては、こういう表記をしてるんだと、何か勝手にこうこれに基づいて探してください、そういう人なんですか。
0:49:13	はい。日本原燃、田仲です。
0:49:16	流れの取り合いのところにつきましては、1個1個丸番号を振ってですね、どういふふうにとり合うかというのをちょっと試みてはみたんですけども、非常に数がですね、物によっては、
0:49:28	数百ぐらいに及ぶものもあってですね、その0をかけるだけでも非常に大変になってくるということなので、山根実際に追いかけるヒントとなるものがございますので、そういうものもあるので、本文で示してる系統図、
0:49:42	Dの関係、あと山根の取り合いとか、あと周辺のフロムツーになってる貯槽の関係とかもですね記載されておりますので、それを総合的に見ると、
0:49:54	一つ一つ山根に食い込む布施吉川こちらの方がいいのではないかなというふうに考えた次第でございました。
0:50:04	やっぱり資料中、なんか、何となく私Bな中で、
0:50:10	ただ単にどっか上に行くかってだけの話で、後何かいちいちその157、黒須田部井との、
0:50:19	何か、
0:50:20	変換メーカーですね、後、どこのページですか、何かそこがより安いんですけども、
0:50:30	日本原電の瀬川でございます。
0:50:32	今回その追いかかり方の工夫という意味で言ったのはですね、117の資料をつけたのもそうなんですけれども、例えば49ページ。

0:50:44	いただきたいんですけども、F D 157 年以降の詳細な系統図に至る前の手前の所、詳細な系統図ですね。
0:50:53	こちらの、青色の水色で囲っている部分ですね。
0:50:57	これが、ここに書いてある、例えば、49 ページの中段の方ですと、
0:51:05	いろいろさん書いておりますけれども、
0:51:07	ここに、先ほどの 157 ページ。
0:51:11	以降のですね、
0:51:12	同じシートがおりまして、ここにこの水色で囲っているような情報というのが、記載されているというようなその全体のマップというのを、49 ページのような形で示さしていただきました。
0:51:26	さらに、その E F を伊方といった部分の参考としてですね、左側の方にテキストボックスでですね、どっからスタートして、シートのナンバーでいくんだよといったようなところ。
0:51:40	も、をさせていただいたという、ちょっと工夫はしたつもりでした。以上です。
0:51:48	はい。野中すみません。私もちょっと全部資料置いてなかった部分あるんですがだから、
0:51:54	49 ページで大体部分からに移る。この部分は、このシートに書いてあるからということで、大体のそのページの、
0:52:04	関係がわかる。
0:52:06	ていう、まあ、そうですか。
0:52:09	会議芳名のセガワでございます。その通りでございます。
0:52:14	すみません、規制庁草場です。まず、この番号がないじゃない。
0:52:23	峰さんです。佐瀬。坂野です。はい。
0:52:28	小松委員。
0:52:29	はい、わかりました。じゃあもう番号自体は言わないようにして話しますけど、
0:52:35	番号出せたんですね、この番号の図面がどこの停止にあるんだっていうのがわからない。一番、
0:52:42	戦原因だと思っていて、
0:52:46	て言うんですけど、番号書いていただくのはいいんですけど、この資料の 7 ページだとかってというようなことが、
0:52:53	わかるといいな。
0:52:55	ということなんです。この資料の何ページっていうと、現場になってたりしてページというのはちょっと、ごめんなさいっていうふうに言うと思うんですけど。

0:53:06	先ほど 150。
0:53:09	1 ページでしたっけ、抜粋へ。
0:53:13	が違うの。
0:53:17	さっき子供はもう、
0:53:20	読み方を、
0:53:25	山地。
0:53:29	いえ、これ一前に、
0:53:32	150 ページ見ると、
0:53:35	F D ナンバーっていうのが鍋倉、何か 2 人出ていて、
0:53:40	理由が多分この C F D のところには、分類の、
0:53:47	J A L とかがあってそれをこういふことですよとかっていう、いふのが、
0:53:53	説明があるんだと思うんですけど。
0:53:56	この E L T ナンバーなんですか。
0:53:59	うんながらですね、一番 156 ページいきます F D - No. というのはですね、D の理由をですね、グルーピングした際の番号になっておりまして、C F D そのもののシート番号とはちょっと違うようになっているんですがちょっと、
0:54:13	誤解を招くと記載がないっていう。
0:54:16	いや、ごめんなさい誤解じゃなくて、
0:54:19	完全にこれ、何色ダンパって何ですか。はい。ていうのがもう、
0:54:25	基本的にタナカず、具体的に申し上げますと、C F D の方のシート、例えば 150。
0:54:32	8 ページとかご覧になっていただきますと、青くで囲ってありますところに四角の方、何本か入っているナンバーは振ってあると思いますけども、こちらの方の番号と対応しております。
0:54:50	ごめんなさい。
0:54:52	四角番号、図の中で、四角でというか矢印を入れているところの番号。
0:55:02	パッケージでした。その通りでございます。わかりました。N T の中に書いてある理由番号ということですね。
0:55:10	はい。梅川足達総合力、
0:55:12	はい、わかりました。それはちょっと違うのであるんですが、
0:55:19	系統図を追いかけて抽出するといったときに、継続がはいえる。いいですかね。ええ。
0:55:26	先ほど 100 ページぐらいがあって云々とか言われてたんですけど、1 系統を示す時に、ページとか、

0:55:35	ページ数ではなくて図矢羽根の数を数えると、いろんな意味では、100 超えたりするものもあったというものでした。
0:55:44	わかりました。山根 0 を一対一というのではなくて読み方はこれでいいんだけど、
0:55:50	この引き続きってどこにあるんですかってこと等をパッとわかるようにできないか。
0:55:56	結局皆さんは F D の番号やればすぐにそのゆり開けるんだと思うんですけど、我々はできないんで、
0:56:03	今見、実際に連番の提示をされてますけど、F D の一式を書いているところの個別ページなり、L / D の、この資料のその部分での、
0:56:16	番号づけとかをすればですね、
0:56:18	この版ホームページを開いたら、
0:56:22	そこ開けばというので、C F D 番号と、通し番号、
0:56:28	いうのを、
0:56:32	その最初のページ、
0:56:34	入れておくだけでも、
0:56:36	それを傍ら日、
0:56:38	山根のところ見たらべしというふうにはできるんじゃないかと思うんですけど。
0:56:46	5 分ぐらいでいいです。
0:56:48	はい。日本原燃須田でございます。
0:56:51	わかりました。
0:56:52	今の 158 ページ、先ほど、事例としてタナカの方からご説明しました。
0:57:00	何か、その中のですね、
0:57:03	久野様。
0:57:08	ないんですけど、
0:57:11	当番は、
0:57:14	あと分数で書いてある。
0:57:17	我々、
0:57:23	番号⑤、
0:57:25	区別、
0:57:26	うん。
0:57:28	実はそれが先ほどお示ししました。
0:57:35	他の系統を使って説明している中に、
0:57:40	それが水色では、
0:57:43	もう

0:57:45	それでわかるようにしてるんですが、
0:57:48	おっしゃる通りですね。
0:57:54	ぐらい。
0:57:58	対応してる。
0:58:17	はい。
0:58:19	ここに行き着いてるのがどの位UDなりで、
0:58:24	山根とかを見たときにすぐにそのページが開けるようにというところで整理して、例えば、
0:58:31	北村さん、そんな感じで大丈夫ですか。
0:58:35	とりあえずそこら辺まで整理いただく複写見やすいのかなというふうには理解します。はい。
0:58:49	今日もう、他には、辻さんなんか、別紙の1-2-6ということで、
0:58:59	別紙1-2における共通的な記載事項という資料が用意されてるんですけど、この資料の位置付けは何だ。
0:59:09	はい。インフルエンザの方です。土田の方はですね、
0:59:14	Dとかに使っております凡例とかですねそういうところ、あとは資料の構成の話とかもちょっと全部見えてしまってるところがあるんですけども、
0:59:25	全般的な無駄であったり、補足的に解説すべき事項というものをまとめておけるような資料になっておるんですけども、
0:59:34	ちょっと細かいところがちょっとあってですねあまり、これを一緒に比べながらというようなこともないかもしれないです。
0:59:45	はい。ちょっと今日いただいた指導自体のですね、共通要求等は、
0:59:51	別紙1の医療設備等の
0:59:55	別紙の1の議論という、結構わかってるところもあります。Cどれを中心を見ればいいのか。
1:00:04	で、もう一度2-6はわからない。どうすればよかったらいいのかよくわからなかったところがあって、日本が共通上級で全体的な、
1:00:16	案内を、文節を示していただいて、ベースに、
1:00:20	別紙1-2の2-2-1、こういったものを
1:00:25	確認し、防災、
1:00:28	場合としては1の参照するかもしれないような集団とかそんなような位置付けである。
1:00:35	はい。その補足的な人を指導、
1:00:43	衛藤福嶋須藤、この別所市野の
1:00:47	では、

1:00:48	次が、
1:00:50	現行の取り合いです。
1:00:52	例えば溶液を移送する。
1:00:54	はい。
1:00:55	協会の貯蔵。
1:00:58	委託する。
1:01:00	は、
1:01:03	情報から、
1:01:06	だから、
1:01:07	グループの
1:01:09	H e a dの飯泉ですけど、これもいろんな種類があります。
1:01:16	どういうふうにとり合うのかというような考え方とか、そういったような
1:01:20	考え、
1:01:21	はい。
1:01:25	やめたのが、
1:01:28	ナカガワおっしゃる通りですね供給要求の本文と、それから個別のべし。
1:01:39	これを見たときに、
1:01:41	こちらの方に、
1:01:48	してますので、
1:01:56	はい、規制庁の方で大体わかりましたけど、このP Cの2-6は、対象している文書みたいな投光器が、
1:02:03	これは参照されてるのでしょうか。
1:02:07	うん。
1:02:08	はい。宮永さん、以前はですね、こちらの別紙1の2-6に、共通的な事項ということで終了としない理由とか、
1:02:17	記載して踏み込みなどしていたんですけど今直接、別紙1-1取り合っ
1:02:22	て、
1:02:22	記載がなくなっております。全部。
1:02:25	はい。
1:02:28	すいませんコサクですけど、そもそも、
1:02:31	1-2-6って1-2の下にぶら下げたからあれなんですけど、別紙の構成ってというのは全体、
1:02:39	共通の方で説明されてるってことですよね。
1:02:46	はい。皆さん総務部。

1:02:49	それによって、1-11-2 千野さんとかっていう構成も出てきてたと。
1:02:55	思うんです。
1:03:00	D、
1:03:01	特に 1-2-6 の最初は、
1:03:05	同じじゃないか。
1:03:08	へえ。
1:03:09	先生もこれ共通。
1:03:12	2、
1:03:14	してしまうという考えでございます。日本原燃の瀬川でございます。今古作さんおっしゃられた通りでして、
1:03:22	これ過去、過去の設備の選定の検証のヒアリングで、いろいろコメントを受けたところに対しての、その回答というのをまとめるような位置付けであったりしつつ、
1:03:36	さらに現実的にはですね、この共通側、冒頭の本当の本体側に預けるべきものだと、重複してる部分もちろんございますけれども、本来は安く集めた続けるべき内容だというものも、多分ございますので、
1:03:52	ちょっといま 1 度、こちらの扱い、再整理をさせていただければなと思います。
1:03:58	すいませんちょっと 1 点補足というか先ほど私に違えてしまったところございまして、別紙 1-2 の両改正とかそちらの方のですね、4 ポツの方で、今の支出の記録というものを共通的な事項として取り扱って、
1:04:13	ということで、読み込める記載がありました件数はですね、別紙 1-1-1 のですね、
1:04:20	30 ページをご覧、
1:04:23	先ほど B をして、
1:04:27	そうすると、
1:04:29	一つの見方っていうことで、
1:04:32	で、
1:04:33	関戸氏を確認するにあたり、設計当初の記載。
1:04:42	で、
1:04:43	吉富片岡。
1:04:49	はい。
1:04:50	はい、星さん。
1:05:03	はい。
1:05:05	別紙 1 が 26 でいうと前半部分はほとんど共通に挙げられて、25 ページ以降とかだと、見方って感じのところが強いです。

1:05:18	していったって、これも別にあげても問題ないような気がしますけど。
1:05:25	整理をしていただいたらいいかなと。
1:05:31	金田です。
1:05:34	はい、規制庁の方はちょっと私も時間あっていろいろ調べたら、環境今回一緒業界設備を、別紙1-2-2-1の47ページ、一応別紙の2-6とか、
1:05:46	引用してるんですけど、もう先ほどの話の繰り返しになりますけど、結局、共通的な要素があって、
1:05:53	そういう方向を合成してしまうというような気もしますし、結局ですねあの場茨城資料がですね、どういう位置付けのものかというところが明確でない中でですね、
1:06:07	展示されると、それを教育観点でどう見るかっていうところがわからないんで、
1:06:12	何かこの1-2-幾つというか、よくわからないっていうのはどういう意味かよくわからないんですけども、そういった使用過程というのは、告示なのかもしれないんですけど、
1:06:28	そういうところも、統括完結を示していただくと、それぞれ提出された資料が見えて、何を見ればいいか。
1:06:36	いうところがわかるかと思しますので、そういうことも含めてですね少し仕様を見直していただければと思います。以上です。
1:06:45	はい、棚田です。全体的な資料構成の見直し等も含めましてこちらの方、どういう繋がりが出るのをわかるように修正したと。
1:06:55	はい。室長の岡です。よろしくお願いします。
1:07:01	ところが、そんなにはやらない。
1:07:04	あまり、私の方から全体的なの。
1:07:07	資料の説明の仕方とか、そういうところ含めてコメントさせていただきました。坂増加があればあれですが、
1:07:17	木曾が何かコメント場合は、他にお願いします。
1:07:31	はないです。
1:07:35	です。
1:07:38	そう。
1:07:39	で、当審議会として修正をしている病院について、説明をお願いします。
1:07:50	はい。梅田です。
1:07:52	水はもう、
1:07:53	ありました。

1:07:54	を踏まえまして、
1:08:05	本部の方、
1:08:08	苦勞
1:08:09	審査会合。
1:08:11	A D A M S 量の考え方とか、
1:08:13	やってないところがあった。
1:08:17	苦勞とか、
1:08:20	何かあります。
1:08:25	溶解設備の方につきましては、閉じ込めの増分のところの、
1:08:29	奥田蜂谷。
1:08:31	を整理した言うと、
1:08:35	身売りをもう 1 人の
1:08:38	何かあるっていうようなおわかり
1:08:40	エネルギーの方のメンバー。
1:08:42	指導メンバー。
1:08:44	それがわかるような形で、
1:08:48	言うと、
1:08:50	つきましては、
1:08:51	取り扱い、
1:08:54	資料構成。
1:09:03	作業はもう、
1:09:04	福祉等の社内で調整し、
1:09:08	はい。
1:09:14	基本原則です。すいません、規制庁補足ですけど、ちょっと念のためなんですけど、最初の方に話をした機能の名称が、
1:09:24	具体的に、別紙 2 とどう繋がる。
1:09:28	で整理をしたのかって言うところの関係で、それは最初に、その関係性を整理をしていただくということではありつつ、具体的に
1:09:39	この資料全体でどうなるかっていうと、別紙 2 から昨日整理をしましたっていうのが最初に出てきて、それを各別紙に展開をして、
1:09:53	なんつうかね、関連するものをまず抜き出してあります。
1:09:58	ということになり、その機能についてをですね、
1:10:05	この 121 であれば、
1:10:09	9 ページから、

1:10:10	この機能について、南條の機能について、こういうもので、こういうふうになってますというふうに書いていっている。
1:10:18	いうこと等ですけど、作業として
1:10:22	先ほどの別紙2の抜粋を見ても、
1:10:28	この機能に対するものってのは他の系統でもいっぱい出てくる。
1:10:32	いうことですけど。
1:10:35	その機能の説明っていうことは基本共通であり、
1:10:41	あるような気がするんですけど、この場所っていうのは、全部それぞれが、
1:10:47	単独で作業しているっていうことになってるんですかね。
1:10:55	はい。日本原燃の瀬川でございます。ちょっと
1:10:59	的外れな回答になるかもしれませんが、
1:11:03	2-9ページの閉じ込めの放射性物質の保持機能といったところですね、この放射性物質の保持機能の大元の思想というのはもちろん別紙の基本設計方針に書かれているわけですけども、
1:11:18	それを個別具体の設備ごとに、
1:11:22	手法を変えてですね、今回この別紙1-2シリーズで60、70設備ぐらい出しておりますけれども、その設備ごとにですねその設備を主語にして、
1:11:33	どういう観点での放射性物質の自分のこの設備になっているのかというのを、毎度毎度同じ設備から異なる設備に、9ページ相当の解説を入れて、
1:11:44	解説という発電所を入れて説明しております。以上です。
1:11:50	9ページは保持機能であって、単純に系統こういうのがありますよって言ってるようなものなんで、あんまり
1:11:59	それだけでも、そんなにも違和感ないんですけど。
1:12:03	11ページに行くと、
1:12:07	まさに昨日来いろんな話があって、第1段落はその機能の説明が書いてあり、その中に具体名も入ってきてるっていうことなのかもしれませんけど
1:12:20	舞台がぶら下がってくると。
1:12:22	いう感じになってますんで、私が気にしたのはその最初の、その機能の説明をしているところが、人によって違うことを言われていると。
1:12:32	非常に混乱をするのじゃないかなと。
1:12:35	思ってまして。

1:12:38	一つの機能に対する説明は、横並びとってくださいって言って、できればそれを効率的にやれる方がいいんじゃないですかってことなんですけどどんな感じですか。
1:12:49	はい、本江野瀬でございます。まさにこの崩壊熱状況みたいな系統部分につきましては、個別設備が担う。この開発状況の部分というのはこういった 11 ページ程度ですね、概略的な記載。
1:13:04	個別設備を処分して展開しておりまして、これを取りまとめる親となる安全冷却水系のこの別紙 12 というのがまさに今日お出ししてる説明資料の 12541 と、
1:13:17	田川になっておりまして、こちら側がこの崩壊熱除去機能に対しての方向やとなる設備になりますのでこちらでしっかり、
1:13:25	全体総括して伸びるといような役割分担で道のりを作り込んでおります。以上です。
1:13:34	はい、わかりました。
1:13:37	これをしっかり書けば
1:13:40	他のところで、機能を、
1:13:43	になってる部分についてはこの文書をもとにして変えていけばいい。
1:13:49	はい、本江さん。
1:13:53	はい、わかりました。その上でもう別紙 2 という流れを着性して、まとめていただけるとこちらも見やすいかなと思いますので、よろしく願います。以上です。
1:14:05	はい、承知いたしました。
1:14:10	はい。共通して、規制庁側からございますでしょうか。
1:14:22	あとなければ続いて、次の資料に移りたいと思います。1 溢水 0。
1:14:30	ぜひで道民の方から説明をお願いします。
1:14:35	はい。イメージ。
1:14:37	朱色のように 40 ということで、7 月、7 月 19 日、
1:14:46	これまでのビルディング鳥井を踏まえまして、集中させていただきました修正の名残ご説明をさせていただい
1:14:55	て、右下 8 ページ。
1:14:58	ありがとうございます。ステージだろ。
1:15:01	ページから 8 ページにかけてでございます。
1:15:03	基本的方針の冒頭の文章の構成を見直しをしてもらいます。
1:15:10	8 ページの一番、農政教室の一番下の段の下にあります実績評価の話です、

1:15:17	この 8 ページの溢水の対象設備以外の安全機能を有する課題の前に、ほぼ代表設備に対する安全機能を損なわない設計の一環
1:15:28	として聞いているかを行いますような文章。
1:15:32	ございました。そのあとに、10 ページにあります。ホームページという委員長が、
1:15:41	これが一番最後、11 ページの 3 に当たるところで、防護対象に関する説明、設計の関係と評価の話が、取り組んでいたところ、
1:15:52	文章の構成を見直しまして、防災に対する連携を図った上で、評価の話を書くということで、構成を見直しをさせていただいたと。
1:16:05	続きまして、右下 11 ページ、これ以前、すみません、東郷作ってないのであって消火水等、(2) は、
1:16:15	相当が抜けません。
1:16:19	見直しをしたということでございます。
1:16:24	うん。
1:16:24	続きまして、CG と、19 ページ、実際 19 ページは吹き出しの文言になりますが、高校生の方の
1:16:35	待とうとしています。衛藤の解説のところで、これいろんなものを整備して、
1:16:43	それ自体の当初として、
1:16:48	を使って、もう書かさせていただいてる施工部隊については、AT 処理側で展開します。
1:16:55	沖さん。
1:16:58	はい。
1:17:00	続きまして、
1:17:02	右下、
1:17:04	23 ページ。
1:17:06	田部井を取り扱うかどうかの関数の関係ですね。前回もいろいろお話をさせていただきました。監査役だけが単品でいるわけじゃなくてやはり壁。
1:17:18	等の関係で、かつの話が、業界として存在するということだと思いますので、ここも、
1:17:26	記載を見直したということでございます。
1:17:31	はい。米州としては、
1:17:36	右下 3 ページ以降の第 2 章のところも、先ほど貫通部の壁の関係は整理をした上で海岸管理室所長含むという形で、記載を見直して、させていただいてございます。

1:17:49	はい。
1:17:51	右下 44 ページ以降別紙 2 でございますが先ほどの別紙 1 の内容を踏まえた上で、記載を修正後他の条文との関係も、
1:18:02	見直し。
1:18:06	2 社 67 ページから別紙 3 でもない。
1:18:09	これも石井君。
1:18:17	はい。
1:18:22	右下、82 ページから資本の構成の話を書いてございます。そのあと別紙、83 ページから別紙。
1:18:33	-4 がスタートしております。
1:18:36	一番左側行政教授の北井野辺式に合わせて修正をさせて、
1:18:42	また整理した。
1:18:46	88 ページとかですね、備考欄、先ほど指示系統としたものについては、いわゆるこれ、別紙 4 の今つけてますのが 1-1-7-1 が、大本の家の前となりますので、
1:19:01	これが実際にかかる子供の添付、今後懇親会につけていきますので、これも添付側で衛藤のところは紹介をさせていただきますということを、
1:19:12	記載をご覧ください。
1:19:14	ました。
1:19:16	はい。
1:19:23	募集、大きな
1:19:24	としては、
1:19:29	右下 110、109 ページ。
1:19:34	前回勝部施設長、葛西との関係の話がありました。
1:19:41	すいません調べたところでは、
1:19:44	違いはあるわけじゃなくてですね。
1:19:46	これもともと言いたかったのは、まず、原理原則として止水処置の関数は、火災によって機能を損なわない設計をしますということです。
1:19:56	ただ一部、樹脂とかを使うような、かつ修正処置をする場合、当然火災区域の境界には耐火シールがあるんですが、
1:20:07	耐火シールは、完全に止水をするということまでは期待はできないので、この貫通部止水処理で樹脂を使っている火災が同時に起こった破砕をもって、消火水をそこに放水するといった時の、
1:20:21	の経路として考えると、耐火シート同等の耐火精度をこの実験に関する自制処置が持たない場合は、持つことが証明できない場合は、

1:20:33	消火水を溢水経路として考慮しますよということを書かさしていただきました。小浦には説明を書かさしていただいと、いうことでございます。
1:20:44	はい。
1:20:48	後は一切 123 ページ、屋外の一時的レーザーとか開口部の段差ですね、ワークをするというのは以前からお話をして、
1:20:58	問題。
1:20:59	で、評価としては、
1:21:02	概略評価を行って、開口部の高さが、水位を上回る水位が開口部高さを下回るということは確認をしました。
1:21:11	詳細評価ということで、小浦に今回示しますほうの 1-1-7-4 で示すということを書かせていただいとございます。
1:21:21	はい。あとは、
1:21:22	実際は 27 ページから、2 ポツ 4、下水道設備の設計方針というのができます。今回建物に関するものもありますので当然ながら、取り交わせるものは、
1:21:33	内科のお薬で年間
1:21:37	と。
1:21:41	いうことでございます。
1:21:43	はい。説明は以上になります。
1:21:52	長です。説明について、規制庁側から確認ございましたらお願いします。
1:21:58	大岡です。それでは、今示された戦させていただきます。
1:22:08	まず 8 ページ目のところで、
1:22:14	今まで、その評価を結構範囲出していたっていうのをあと思い出し生命前の部分、前半部分の感覚。
1:22:23	少し、
1:22:25	もう少し調整したんですが、目的が、
1:22:30	設定するために載ってるんですが、他の点数とか、あと今までも議論してきました評価はあくまで
1:22:38	確認のため、
1:22:39	その設計が、その設計が大丈夫であるという確認のため、
1:22:45	僕
1:22:47	ちょっと目的が変わってるかなと思います。で、
1:22:52	運用面の損なわない設計であることを確認するためとか、

1:23:00	ほかの点ぷーにあるように、その確認するためっていうことを部分的に、
1:23:05	した方がいいんじゃないかなと思うんですが、ないです。
1:23:08	はい、ユニシアでございます。今ご質問の件で、
1:23:13	5のところに書いてある、今、我々中瀬見てるは、
1:23:18	河川である以上、そのまま持ってきて、
1:23:21	大下三浦通り、
1:23:22	池戸友田はない設計だと確認するために、
1:23:28	MCを伺いたい。
1:23:32	はい。施設を借ります。ちょっと細かい話なんですけどそのあとの、
1:23:38	10 ページ目のところの繋がりがやっぱりちょっと、
1:23:43	また、設備とかMARK-11中にある、追加の条件の違いっていうところでの繋がり、
1:23:51	その評価としては、
1:23:54	ぶつけたっていうこともあって、なおとか、そういうので、
1:23:58	もう1回、
1:23:59	今回、思うんですけど、
1:24:03	はい、西田でございます。失礼いたしました。文章の繋がり見た上で、
1:24:10	なるほど。
1:24:12	あげて、
1:24:13	部長として、
1:24:17	はい、清島海ですよろしくお願いします
1:24:20	あと15ページのところ、
1:24:22	その作業者の下のところも少し申されているんですが、ここちょっと溢水量を設定することについてとか、
1:24:33	融資部門に対して質量を設定するっていうような、
1:24:39	まず、ちょっとくどいっていいことだったんですが、まだちょっと溢水量を後ろにしてるのでちょっと今回のスワって、溢水量についてはっていうふうに書いてもらったら、佐野松井はもう、
1:24:52	降水量講習時間から設定するとか、駆動車を少し、
1:24:58	考えて末もこう調整されたってところで溢水量をこうっていう、
1:25:03	もう、省いた方でしたっていうちょっとケースが、
1:25:07	いかがです。
1:25:09	はい。米津ありがとうございますそうです。まだ足りてないんですね。
1:25:15	それ説明したのはハウスイに、
1:25:19	より水量の設定の考え方ですのでおっしゃっていただいて、利水を

1:25:28	ご出席いただく合理性については、放水量と、
1:25:33	平成、
1:25:37	はい。規制庁、岡です。よろしく申し上げます。東京の設計方針から見て、23 ページ目。
1:25:44	わざわざ 25 ページ目の、
1:25:48	今回の事業活動以降のも°Cのところ、
1:25:52	25 ページの設計方針になったと。
1:25:56	これ、ここ必要だとは思っているんですねのための確認なんです。
1:26:01	添付書類の方ではここ当番なってますね、
1:26:05	顧問、Xトレイ側ではない理由とかもしわかれば、
1:26:12	教えていただきたいんですがなんかここほぼない理由ってあるんです。
1:26:22	はい。読み一緒。
1:26:25	よろしい。
1:26:28	まで、
1:26:29	0 でした。
1:26:31	15 ページ。
1:26:35	高水準。
1:26:37	評価対象となる防護設備が設置されているか。
1:26:42	これも、
1:26:42	どうしよう、どうか。
1:26:44	という溢水対象降水による溢水評価
1:26:50	営業部。
1:26:51	そのあとの括弧B。
1:26:54	消火水の構成によるということでも消火水を対象にして、どんどん展開をしていて、
1:26:59	ただこれまでの議論で消火性が一番何ていうんでしょうか。
1:27:06	程度ありをして、どこまで残すかってのは確かに議論あるような気がするんですけど、前よりここはどこしといた方がいいんじゃないかということで、整理をさせていただきました。
1:27:17	他のところは地震がはずっと言ってしまうと、大体いろんなものが入り込んでくるので、衛藤細かく使わなくても、そういう気がしたんですけど、
1:27:27	小高の
1:27:30	評価の防水においても、あらかじめ選定した上で書いていたところを、含めていろいろ評価が一番、いろんな要素がありそうなので、等も含めて展開しようという

1:27:43	ことで、20、先ほど、
1:27:46	うん。
1:27:48	で、等つけて展開をさせていただいたということでございます。
1:27:53	はい。説明です。わかりました。ここやはり変更点。
1:28:00	いただければと思います。今のような理由が結果があったんで、よろしくをお願いします。
1:28:09	はい。病院長でございます。
1:28:12	規制庁オオオカです。基本設計方針としてはちょっと今の段階では、添付の方で調整恒設活動させていただきたいんですが、現時点、規制庁の赤川漱石の更新、別紙1に関して、
1:28:28	何かコメントありますでしょうか。
1:28:33	ないようでしたらちょっと別紙4の方で、向こうの修正の中で幾つか、
1:28:39	引越し導線となりそうなところがありますので、まずちょっとさせていただきます。
1:28:45	近江。
1:28:47	まず、今後、88ページ目でちょっと説明があった消火水のところ、
1:28:53	ここが、添付書類の方、六ヶ所ニコス以降になってるので、これはおそろくっていうんでしょうね。
1:29:03	はい、与儀石田でございます。はい。
1:29:07	西岡さん、どうぞ。
1:29:12	はい、規制庁さん、ちょっとそういうのをお願いします。93ページ目。
1:29:19	前回の議論に基づいて、大変適当ということで、評価条件式っていうことという議論もあったかと思うんですが、
1:29:30	今回、93ページ以降のところ追加されたところの2行目から、
1:29:37	もうちょっとよくわからなくて、石井昆解消設備の資料全般を示すって いうふうに、
1:29:45	書いてある、これと評価条件の関係っていうのがよくわからない。
1:29:50	これはどういう整理なんでしょう。
1:29:59	日本原燃の福村でございます。
1:30:06	前回提出したときには、
1:30:08	すべて、
1:30:21	評価。
1:30:39	しょうか。
1:30:49	規制評価におきます。
1:31:22	規制庁たです何か。
1:31:25	溢水工房解消設備の使用全般に限定をかけてるような、

1:31:30	イメージが、
1:31:31	この書き方では、今の説明もそうだったと思うんですけど、例えば、水をここ含まれて
1:31:39	い水量の方に含まれると思うんですが、溢水量なんかは、後日の資料でもなくてですね。
1:31:45	前回の議論、今のおっしゃっていただきましたが、やはり評価条件全般ということで、そこを限定するんじゃなくて、
1:31:56	ほぼ次回の
1:31:58	書類の方で評価条件を、全般的に説明されると思うんで、そこで説明しますってというような仕組みが、
1:32:08	説明の方が何か、
1:32:10	我々としては、受け入れやすいと思ったんですねたん。
1:32:14	はい。マネージャーでございます。ずっといろんなケースが考えられるし、溢水防護対象質疑っていうのが、
1:32:22	何か出てこない。
1:32:24	最初に来る
1:32:26	までB Tわかる。
1:32:29	評価の条件として想定されるもの、
1:32:33	ものにできそうなものを書いた上でそれが、も含め、様々な評価条件くださいようなものっていうのをちゃんと見ますよという意味での、この通りだと思imasので、
1:32:44	そういったことばかり記載。
1:32:50	田尻です。1.1、調べたんですけど、どこで一斉降格においてっていうもんがあると、一生懸命、
1:33:05	はい、三品でございます。
1:33:08	にわたり、
1:33:11	運用方法対象設備を新たに置けば、
1:33:15	もう
1:33:18	ということになると思う。
1:33:19	ここはもう対象じゃなくて、水平の方。
1:33:26	要は、頑張らあげ方って、全部行っていこうかっていうと、違います。
1:33:36	はい。なので、おっしゃってる趣旨はわかりました。ここにおいてと書いてしまうと、他のところで条件が変わったものがスクリーニングで早くなってしまふということは、

1:33:46	あつてはならないんで、そこも含めて、ちゃんと拾えるように、1相整理をしたいと思います。
1:33:53	政策性全部結局見れるんだってっていうふうにならないような検討いただければ、ちょっと横が失礼しました。
1:34:06	はい。次調達ありがとうございます。
1:34:10	越冬
1:34:11	94 ページ目のところで追加していただいたところが、
1:34:19	以前から議論している伊勢評価の、
1:34:23	考え方ですね、評価対象となるものの考え方なんですが、
1:34:29	まず以降のところで、設計方針、方向性を踏まえた記載というふうになって、これはどういう意味です。
1:34:43	日本原燃のフクムラで、
1:34:46	こちらの備考欄に記載の、
1:34:48	としましては、
1:34:54	だから、
1:35:20	こちらの理由としては、確かに、
1:35:24	以前はお伝えした。
1:35:35	はい。伊勢。
1:35:36	太田です。
1:35:37	うん。
1:35:38	いまいち。
1:35:40	わからなかったんです。
1:35:42	そういうふうに修正させる。
1:35:47	ここで、
1:35:48	青字を出した人は、道路ってしまって恐縮ですけど、右下7ページの、
1:35:56	基本設計方針、
1:35:58	対象外ですけども、添付書類5のところの、
1:36:05	なお書きが必要になると思います。ここの話を書きたかったということでございます。いずれ多少設備はこれ公衆への影響とかも考えた上で安定になりますと、
1:36:18	言った上で、ただ、その防護対象設備のうち、影響を受けてもその機能が損なわれないことが明らかなものは、影響評価の対象として抽出しないとして、これ
1:36:30	木津川で展開しますよってということで、
1:36:33	それを変えるということでただ、それをそのまま備考に書いてないんで、許可において、一斉対象設備からの溢水影響、

1:36:46	<p>溢水量で機能喪失しないと、明らかにしないとするものについては影響評価の対象としないとしていたことを添付書いわれ記載の施策というのが実態でございます。</p>
1:36:57	<p>以上です。</p>
1:36:58	<p>はい、辻岡です。そういう理解だと思います。ここの部分を少し議論、</p>
1:37:07	<p>まず、この今、</p>
1:37:09	<p>さしていただいた基本設計方針は別紙1の、</p>
1:37:13	<p>添付書類5になる。なお町井のところがここに表現されている。</p>
1:37:20	<p>できるだろうなと思っての確認だったんですが、</p>
1:37:24	<p>まずここ、</p>
1:37:25	<p>添付書類側に入ってもらったことが、完璧に表現されていないと思って、</p>
1:37:34	<p>溢水により安全機能を損なう恐れのある設備を対象とする。</p>
1:37:39	<p>こういうふうに書いてあるんですが、</p>
1:37:41	<p>書類側の説明では、そういった今までの議論でまだ逆に、溢水、</p>
1:37:49	<p>評価対象を設定するために、溢水評価をしなくてもいいものっていうのはどういうものかっていうことをまず考えましたっていう、そこから、</p>
1:37:59	<p>集まった議論だったと思うんですが、それについては、どういう</p>
1:38:04	<p>整理になってます。</p>
1:38:08	<p>はい。与儀石田でございます。私ども、</p>
1:38:12	<p>その通りで、ここでやっているのは許可がずっとそうだったと。</p>
1:38:18	<p>要望対象説明また案として選んだ上で、溢水の影響を受けたとしても、その機能が喪失しないことが明らかである。</p>
1:38:28	<p>これを影響評価に回さないだけでなく、恐れがあるものを選びますと言ってしまうと、恐れがあるかどうかの評価を一旦してしまっていることになるので、</p>
1:38:39	<p>そうではないとそういった評価をする前にもスクリーニングできるものを、落とすということをご説明しないといけないんだと思います。そこは今日は、前回は明らかにここにちゃんと正しく書けるように、水位、</p>
1:38:52	<p>文章をもう一度集結させていただきたいと思い</p>
1:38:57	<p>はい。我々もそういう認識で、コメントしたところがありまして、そこら辺、少しまず、</p>
1:39:06	<p>5-1-1の7-1では、そういったところをサマライズさ、要約したようなものに変えていくっていうそういうスタイルかなと思いましたが、</p>
1:39:17	<p>その辺の対応を、またよろしく申し上げます。</p>

1:39:21	はい。いいです。
1:39:24	はい。
1:39:25	はい、規制庁からです。で、あと、
1:39:28	評価対象っていう、チェーンが何か新しく追加されてきているような気がするんですが、
1:39:37	ここまでというか、ここから先はもう、その表現は使ってなくて、評価対象の1水道対策設備っていう言葉をずっと今までも使ってきたと思うんですが、ここ、
1:39:50	これも変える必要があるんです。
1:39:58	容疑者でございます。今言われ、
1:40:09	うん。
1:40:12	評価対象設備という言葉です。
1:40:15	はい。4ページ目が、
1:40:19	評価対象設備っていうことにして、評価対象設備という言葉でこう展開しているように見えるんですが、
1:40:30	そこら辺の書き方というのは、西銘でございます。
1:40:37	ございます。
1:40:38	5-1-1-7-1の段階では、業績表彰を受けた多くの方針を示すということで言えば、この評価対象設備という要望設定は、段階では必要ないと。
1:40:49	この後に出てくる添付書類の小別府です。1-1-1-7にまで来ると、大丈夫ですと選定ないっていうので、評価をする対象としてもいろんな関係ある。
1:41:02	この添付に来て初めて実験が必要なもの。
1:41:05	思います。
1:41:06	ただそれも、この後、1-1-7-1で言っている言葉を使いながらそれをこの後ずっと出てくるんで、会議に
1:41:16	講演会をするということが、この子供連れてくるぐらいでよくて、この一番上の添付でそこまで書く必要ないと思います。非常に、
1:41:26	はい、清長です。何か新しい
1:41:30	位置付けを追加して、かつ、従来の言葉を使っていくっていうような形で今はなっていて、ちょっと複雑になってきてはいるんですが、どう考えても同じ。
1:41:43	言葉を、20年にしてるような印象を今持ってますので、ちょっとそこら辺は全体を整理した上で、端的にちゃんと表現できるような、
1:41:53	状況として整理していただければと思います。

1:42:03	わかります関係してですね今の話が出ましたが5-1-1-7の2の口頭7-1で、どういうふうに書き分けるかっていう観点で、
1:42:14	5.0をします。
1:42:16	別紙5、
1:42:22	越後のところで追加いただいたところです。
1:42:30	140ページ目。
1:42:34	40ページのところで、今のところが1-1-7-2の方には追加されてきているんですが、1-1-7のうちの方にわあ、生かされてなくてですねで、
1:42:44	これをちゃんと整理していただくっていうことも含めていたんですが、どういう安全言われてるかみたいなのところを少しこら辺で整理いただきたいんですが。
1:42:58	はい。与儀次長でございます。まず、考えていたのは5-1-1の7-1。ここでは、
1:43:08	対象の選定として、基本的方針から展開を受けて次をやりますと。
1:43:14	正しいという金岡30の中で、この僕は1に書いてあるような、明らかそだけを損なうことが明らかなものが、
1:43:28	評価の対象にしませんよという、リーディングにかかるようなことは、この1-1の7-1では、
1:43:37	その具体の展開方法の1-1-7に提示していくと。
1:43:41	そこは、音声文言にそこは展開をしていくんだと思ってますので、前振りとは言ってないんですが、この1名、うちの伊井でコウセイコウを立てて書くほどのレベルまではいかないというのが今の考え方
1:44:00	第一声超過です。そこまで確かにいらぬとは思いますが、
1:44:06	そうですね。少しそこについても、
1:44:11	評価対象設備の選定とかも、設計方針とか、そういうものってんじゃないかなと思ってたんですが、その辺は、
1:44:22	はい、理事者でございます。はい。ちょっと先ほどの議論を踏まえて、ここである程度何か思ってるんだということがわかるように、キーワードここに確認したい。
1:44:35	はい、規制庁、その辺はまた最初に、よろしくお願いします。
1:44:43	あと108ページ目。
1:44:48	に、
1:44:53	下のところ、現地書類の下のところで、なお書きで、今回、カクウについて追加されているんですが、
1:45:03	ここ、まずやっぱり、

1:45:07	多分、評価の、
1:45:10	ことであって、安斉の更新、更新のその第1回の娘、
1:45:15	やるようなことじゃないのかなと思うんですが、これは委員長みたいなものはどういうことが、
1:45:24	はい、上西でございます。はい。
1:45:28	以前の議論も踏まえた上であくまで評価にあたっては、区画の設定をしますよというところの、価格の話とあとは今、
1:45:38	その架空の凝灰するものに対してどこまで機能を求めますかというようなことを併せて、ここで整備と思ったんですが、
1:45:51	がちり書きたいということではないんですが、丹治板東は、一番頭の文章のところで、評価にあたって区画を徹底するっていうか構成率ってのはこういうことがあるよということが言えれば、
1:46:02	5-1-1の7-1としては十分なのは、
1:46:06	目的を達成できるかなと思っていましたので、
1:46:11	ここまでの記載がどうしても必要だということはないと。
1:46:14	これは、区画の設定なり評価にはつければ、
1:46:19	そういうことで考えてました。
1:46:24	そういう認識でして、ここで何か相当期間があってですね、市長が強いと言ったあくまでこれは評価の、
1:46:35	じゃなくて、方針なりっていう、思ってたので、その辺またよろしくをお願いします。
1:46:46	続きまして109ページ目、先ほど説明を受けた宗葛西。
1:46:51	火災に対する溢水、
1:46:54	でも団地です一つの考え方。
1:46:57	説明を受けたということで、伊藤は、議会の試算ですが、
1:47:04	ちょっと100ページ目の添付書類のところで二重線引いたらいろんなところが、
1:47:11	もし詳細すぎるかな、例えば書いたシールとか、今まで全く説明されてこなかったようなものが、具体的に登場して、もう少し、
1:47:23	これも出すのであればもう少し具体的な説明が必要になりますがそもそもここまで具体的な説明をするような場所じゃなくて、谷津。
1:47:33	二つですね一つのうちで、
1:47:37	耐火性能を期待できないところは、溢水経路にしますよってまず端的にここは書いていただく方がいいんじゃないかなと、あまり具体的な出さずに、
1:47:47	江藤と進藤志成会はないかなと思ったんですが、

1:47:52	はい。はい。
1:47:56	おっしゃっていただきます。
1:47:57	場合として、ということでございましたので一番最初にお話をしたのが、ちょっと場所が非常に多くてですね消火活動に加工。
1:48:07	の防火シートや及びシミズ作業を配布する場合は前にどどんいっぱいし、
1:48:14	貫通部止水処置。
1:48:16	うち
1:48:18	火災の場合は、溢水経路として考慮しますというようなことを、また適宜、文章があって、場所も含めて、遠くに出したところもあって、なんじゃこれ。
1:48:30	以降は我々考えていることはご説明できたと思いますので、今、食べる場所に記載をもともとあったような、正義た文章記載をして、
1:48:42	終わりという形にさせていただければと思ってました。以上。
1:48:48	ライフワーク正常化でその今のマターで正しいの構成も別に、これによって例えば正しいの内容がちょっと、具体的すぎるってところ。
1:48:59	ただし、もう年を少し、
1:49:02	2月ぐらいがいいんじゃないか、初めのころよりはだいぶわかりやすくなったと思いますので、そういう更新されてはっていうことでコメントしていましたが、もし、もう少し端的にすると、
1:49:16	すいません柳下でございます。
1:49:18	もうおっしゃったようにお願いしました。
1:49:21	ただし見てもちょっと
1:49:25	立崎水措置のうち、
1:49:30	相川正道期待できない箇所は、消火栓、水系として、ちょっと私文書
1:49:38	形付けを、
1:49:41	はい。それで、わかったと思います。そ、その上で、向こうの方で、
1:49:48	少しちょっと具体的な場面をっていうところなんです、今の、
1:49:52	以降に書いてあるところがですね、ちょっと論点が一つの文章の中でよくまざり過ぎていて、
1:49:59	溢水の説明をしてるのが最後説明してるのかっていうところが、すごく効果がちょっと。
1:50:05	わかりづらくなっていいですね、ろ。
1:50:09	まず本でも、ちゃんと溢水のことと火災のことについては
1:50:15	新田上で、それぞれ、ちゃんとそれぞれのことも、
1:50:20	入っていただきたいんですが、以降、伝わりました。

1:50:24	はい、三品でございます。ちょっと、確かにいっぱい書いてます。まず、我々説明したかったのは、まず
1:50:32	先ほど説明ではしましたが、耐火合格と、
1:50:41	火災の拡大、火災区画、いずれも各ね架空の家が間違ったりとか、いいねということはないので、まずそれを前提にした上で、深尾協会には、田井加藤、止水と両方の事業を
1:50:55	付けますよと言った上で、消火水を放水するということが火災が起こっていくということを前提した場合に、
1:51:05	一部止水措置の部分が大会、課題に対して、もたないという、概要的に持たない、もしくは、持つことが、
1:51:16	証明できない部分があるので、そういった場合は、火災によって機能が喪失するということを前提に、
1:51:25	溢水経路として考えますというようなことが、動向は説明したかということでございます。
1:51:33	はい、規制庁から今の説明がすごくわかりやすくそういうことをちょっと備考の方で少しセンターの整備して、表現で、
1:51:42	入ればなと思いましたので、また日本語、
1:51:47	記載の見直しと、よろしく申し上げます。
1:51:50	はい、井手千田でございます。
1:51:55	123 ページ目。
1:52:00	今回、高さん、後藤田井っていただき。
1:52:06	さあ、ここが一番下の段落なんですけど、
1:52:10	もう少し、
1:52:12	ちょっとこの間、
1:52:14	淡泊すぎるかなというのが、
1:52:20	具体的に、
1:52:23	もう少し具体的に書くという上では、溢水により米に対するすいいがとか、
1:52:30	少し、
1:52:31	ちょっと説明が不足してる所就職していただきたいなと思うんですが、
1:52:37	はい。メディアでございます。はい。ご指摘の点は、取り返したところではもともと最初に、その上の段落資料名に滞留水室に対してとって、開口高さ、

1:52:50	というこの文章で書いてあるキーワードのリークパス方法も今ないので、繋がらないというところがあってそれが繋がるように、例えば中央に対応類推
1:53:02	いえる、実績だとかっていうことで、ということの評価の話をしてるんだよということがわかるように、
1:53:09	うまくと思いますが、それでよろしかったです。
1:53:13	院長とかそういうことですので、少し主務という修飾を入れた、入れると何かうまく前の分と繋がるのかなと。
1:53:21	3でまた見直しの方、よろしくをお願いします。
1:53:24	はい、与儀です。羽山失礼しました。
1:53:29	規制庁甲斐です。担当、
1:53:32	自動というわけではないんですが、昨日ヒアリングでのその共通事項のヒアリングの中で、溢水の、
1:53:42	添付書類の中で、耐震のところに飛ばすところというところを少し具体的に明記してくださいというようなところがあったと思うんですが、
1:53:53	耐震説明書に飛ばすところっていうのを少し具体的にっていう話があったんですが、死亡なんかでも、どこら辺っていうのは確認をしているんですが、今はその添付書類が例えば、
1:54:05	臨空先ということで、ここの部分が、ここで説明するっていうことは書いてないという認識でよろしいですか。はい。ありがとうございます。
1:54:17	冒頭の説明で受けました82ページを見ていただきますと、
1:54:23	現状考えていたリンク先がですね、
1:54:30	のお話で来る場合とかの話と、一斉5設備からの3-5から見て、
1:54:42	いくような感じだと思いますので、この添付が出た日初めてリーグがわかるかなと。
1:54:49	そういう分割による、次回、添付の関係もあったので80ページ見えたところですが、現状、こういう繋がりですので、
1:54:59	に行ういろいろなってかということでございました。以上です。
1:55:04	こういうところを確認してきた上での共通のヒアリングでは、例えばそういうところも、協議会で飛ばすものっていうのは、その辺は、
1:55:16	この説明書で説明しますっていうことを少し具体的に、
1:55:21	解説しているような、
1:55:24	議論だったと思うんですが、そういう対応っていうのは、
1:55:28	ね。
1:55:30	はい。読みイシハラでございます。
1:55:35	やり方としてはですね、今回、

1:55:39	例えばですけど、
1:55:43	やり方は二つあると思ってまして、
1:55:48	例えば一つは、107 ページとか 2、
1:55:55	今、一番最後に、設定の具体的内容の 1-1-3 のうち、施設と書いていて、この 1000 円、今回水量の設定に係る
1:56:07	耐震性に関するケース。
1:56:10	評価については、3-幾つと、で示しますと、というようなことを書くパターンと、
1:56:17	もしくはその同じようなことを備考欄に書くパターンと、
1:56:22	いうことを、なおかつ方法があるかなと思ってました。いずれも添付書類の構成、目次の中では、先ほど言った 82 ページにあった、
1:56:37	負担チーズのいわゆるさんの方であったりっていうのがありますよという、かつ次回以降の申請だということが明示されますし、5-1-1 の 7-3 という、
1:56:47	チームもいることはわかりますので、
1:56:49	その中で、
1:56:52	まず市川の 2 ヶ月かで、その工事会で出てくるもの耐震との関係が示しているということが出来るか。
1:57:01	はい、規制庁かですおそらく、この議論だと、ここではなく、変更した時で、もう少しそういった次回の方向性っていうのを明記することということだと思しますので、今のその案 1 の
1:57:16	方で少し具体化していくのかなと考えましたが、いかがですか。
1:57:24	はい。宮城仁科でございます。はい。先ほど医長。
1:57:30	今出てるのかを検討しない。
1:57:33	ヶ月分については、
1:57:41	規制庁の交流認識ですので、また、よろしく申し上げます。
1:57:48	規制庁小坂です。その際の各内容の留意事項とかっていって、
1:57:56	或いはその認識の確認ということでなんですけど、
1:58:01	80 ページだと、もうちょっと耐震通り枝分かれします。
1:58:06	ありますんで、こちら辺も含めっていうことになると思うんですが京都の方は自分で浦様なんで、細かく言わなくてもいいということではあるんですけど、
1:58:19	その二つ目にちょっと確認をしておく。
1:58:22	まずう 103 ページを開くんですね。
1:58:26	時制金による一声というのがあるって、これ特定をするための、
1:58:34	下になるっていうことですよ。

1:58:37	うん。
1:58:43	はい、日本原燃の福村でございます。
1:58:47	関わる
1:58:48	違う。
1:58:52	道具強化に関わる
1:58:59	ような形の始まり、
1:59:02	うちらは、
1:59:07	はい。規制庁草間です。それがわかるように、飛ばすところにも書いて いただきたいということです。特に耐震の場合だと 103 ページのただし 書きの部分で、
1:59:22	書いてるんだと思うんですけど、
1:59:24	この地震力に対して、耐震性を確保されるもの。
1:59:30	ケーブルリングせこれによって 1 水源として設定しないものについては、 ものについての耐震性の確保について、
1:59:43	A 3、
1:59:45	ということだと思うので、この文章とリンクが張れるように、記載をして いただければと思いますけども、地下
1:59:54	はい、近江理事。私はさっき言ってしまって、兵頭経済界、
2:00:01	今の銀行ではないと思うとおっしゃっていただいております、それぞれの文 章も関係するところ、すぐ下に、
2:00:09	はい。
2:00:17	はい、そうです。臨空さ、先を書く場所はもう先ほど場所でもいいんで すけど、
2:00:24	他のところでそれぞれ書いていてとかっていうことであれば、そうして いただいているし、お作法に応じて対応いただければ結構です内容とし っかりとこの部分の、
2:00:36	内容がわかる文言で書いて、そういう文章を入れといてもらえればとい うことですねよろしくお願いします。以上です。
2:00:46	失礼いたしました。
2:00:54	だけで最後に、
2:01:06	追加等と同じ確認たいと思います白水の方がですね、ちょっと今回見直 していたところ、
2:01:14	163 点目。
2:01:17	この別紙 6-1 とか、
2:01:20	169 ページの別紙 6 の間に 603.210 日遂行の国による被水っていうとこ ろが、

2:01:30	おそらく大きいかなんかで、2行、二分も同じものが書いてあったりしてまして、違います。
2:01:41	はい、西田でございます。次、すみません。
2:01:45	そう。
2:01:47	中で違ったり、摂動垂鉛は無理じゃないので、すみません。
2:01:53	丹川瀬。
2:02:00	はい、規制庁からです。まずはそこに、
2:02:04	66ページ目で、個別項目のところについて、ここで改めて見てみるとですね。
2:02:14	今回映像通信だけを抽出して、各市の内容を端的に変えていくっていうところは理解はするんですが、
2:02:25	ちょっと医師5設備、
2:02:28	の中で、亀井から入ってるよっていう、その方が、施工の設備、
2:02:36	いや、一斉により長いセッティングする方針みたいな。
2:02:40	ところもう全部、下水道の設備は、段落がマニュアルでていると、少し繋がりが無いところがあってですねそこをもしご協議いただきたいなと思うんですが、
2:02:54	うんわかり伝わりました。はい、与儀理事ます。
2:02:58	すみません。
2:03:00	16ページ、左側の全体事項と管理課深津室長。
2:03:06	安全、
2:03:07	盛らない。
2:03:08	の文章があって、
2:03:10	カッコいいサプリ。
2:03:13	右の文章なくて、(1)を外して、
2:03:15	これ。
2:03:17	多分、次回の申請を、結果出しているかもね。
2:03:25	ここはBの文章を書いた上で、(1)として書いて、
2:03:30	はい。思います。はい。あとは、
2:03:37	はい、規制庁からそのイメージで、このも使いやすくなるかと思しますので、また、
2:03:45	すみません。よろしく申し上げます。私からは、すみません規制庁コサクです。今のところ文章構成は維持しているというところはそれでいい。
2:03:56	ですけど、今の

2:03:58	うちで、第1回の方で書いてる部分、その文書自体も少し短くなって、
2:04:06	省略されているようなんですけどそれは、
2:04:10	どうなります。はい。与儀次長ます。今までやはり共有させていただいた方針からいくと、
2:04:17	かけます。書いた上で、そこをいじるとオッケーかわからないので、左にある文章
2:04:28	はい。失礼します。わかりました。それで、あれです。主文ではあるけど手術してないところはその下の括弧書きで、
2:04:38	次回ですってということがわかるようにしていくってことですよね。はい。はい。
2:04:45	はい、わかりました。よろしくお願いします。
2:04:49	ありがとうございました。私からは以上なんですけど、規制庁側から、
2:04:57	駄目です。
2:05:01	やっぱり、
2:05:04	ないようでしたら、
2:05:08	はい、本日の原因を踏まえてのコメントを踏まえ、設定方針について現場から手順について振り返りをお願いします。
2:05:21	はい。日本原燃の安保でございます。
2:05:24	まず、地域の方ですけれども、
2:05:30	今回三吉さんの中で、評価の目的のところ、
2:05:34	評価最初のもので変わっているというところで確認するために、SIMMER効果ってということがわかりましたし、あとは文章の繋ぎの観点で、
2:05:51	職員証がございましたのでそういったところを全体的に見てしまう。
2:05:59	あと1、
2:06:01	別紙4の方ですけれども、
2:06:05	評価条件が該当した際に、影響するといったところで、
2:06:13	その中で、条件のところ、大前提を拡大いただきたいなというところで、こちらの方を直して、適切に直したいと思います。
2:06:30	レンゴの北伊井として追加したところですがここが端的に内容がきちんと記載されていないというところで、こちらの内容の方の内容が、
2:06:42	きちんとわかるように、全部公開しています。
2:06:47	一方、
2:06:49	三角勝野氏主治医のですね者は、統括当直長すいません、12時。

2:06:57	今発生した。
2:06:59	石井です県内最大思想、
2:07:02	サンパチ紙車で震度 4、
2:07:05	六ヶ所村の震度は、いや、
2:07:08	繰り返し、
2:07:09	こちらは統括当直長。
2:07:14	が発生した。
2:07:16	平進藤。
2:07:18	サンパチ。
2:07:21	六ヶ所村の進藤家、
2:07:24	議長。
2:07:29	はい。日本原電の安保でございます後再開いたします。
2:07:35	三島ていうんだ。
2:07:37	後で赤瀬の話とかが出てくるというふうに、一緒ですけれども。
2:07:43	こちらの時代、もう一度再度見直すというところですよ。
2:07:51	難しいです。はい。
2:07:54	阿藤。
2:07:55	別紙 6 についてですけれども、
2:08:00	どうも国、公団の繋がり、私の部署というところですので、
2:08:10	そういったところをこれからきちんと入れるという、後々、中途半端な のでちょっと抜ける部分がありましたのでそのところは、
2:08:20	基本方針をそのまま記載するというところに直した方しています。
2:08:28	ありがとうございます。
2:08:32	室長からですね。そうですね。
2:08:43	無理でした。
2:08:44	修正自体は
2:08:47	中
2:08:50	には、
2:08:55	専門家の職種、
2:08:58	規制庁、角です。回答分析ございますでしょうか。
2:09:08	藤セガワ。
2:09:09	大丈夫でしょうか。
2:09:15	等のヒアリングを終了したいと思います。そこを消します。
2:09:22	お疲れ様でした。お疲れ様でした。